

資料 3

長崎市宿泊税に関するアンケート調査

調査結果報告書

【概要版】

2025 年（令和 7 年）6 月

長崎市 市民税課

1. 調査の目的

長崎市は、都市の魅力を高め、国内外の人々の来訪及び交流を促進するとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため、令和5年度から宿泊税を導入した。

宿泊税については、施行後3年目となる令和7年度に、条例にもとづき、制度の見直しを検討している。宿泊税を今後、さらに効果的に活用していくため、昨年度に引き続き、運用状況と合わせて宿泊事業者を対象としたアンケートを実施した。

2. 長崎市の宿泊税制度の概要

施行日	令和5年4月1日	
目的	都市の魅力を高め、国内外の人々の来訪及び交流を促進するとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため	
税率	1人1泊について、次のとおり	
	宿泊料金（税抜き）	税率
	10,000円未満	100円
	10,000円以上20,000円未満	200円
	20,000円以上	500円
徴収方法	特別徴収（特別徴収義務者：旅館業又は住宅宿泊事業を営む者）	
申告納入	原則として、毎月末日までに前月分の宿泊税額を申告納入	
課税免除	修学旅行等の宿泊を伴う学校行事及び宿泊を伴うスポーツ大会・文化大会に参加するもの	

3. 回答状況

調査対象	長崎市内に宿泊施設を有する事業者配布数 188件
調査方法	・長崎市電子申請サービスによる電子申請 ・郵送配布
調査期間	令和7年4月24日（木）～令和6年5月23日（金）
回答状況（回答率）	85件（45.2%）【令和7年6月6日現在】

4. アンケート調査結果

【問1】施設名・連絡先(85件)

【問2】長崎市の宿泊税の使い道について、望ましいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

特に、事業者様として、下記の1~20の項目のほか、宿泊税の使い道についてご要望等ございましたら、⑥の21にその他意見としてお知らせくださいますようお願いいたします。

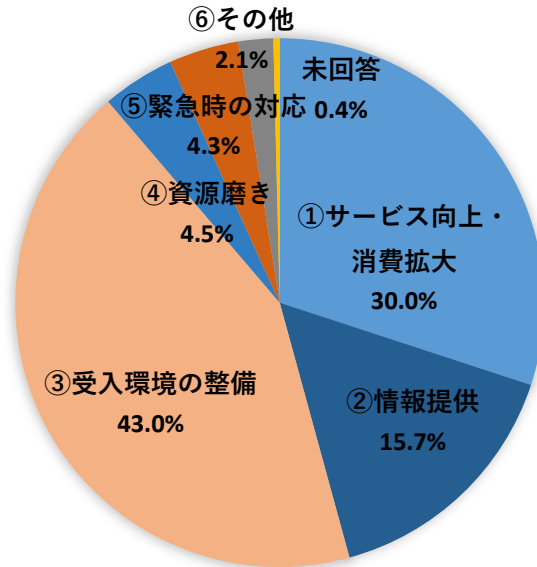
① サービス向上・消費拡大	155	30.0%	1. 長崎市ならではの体験コンテンツの充実	35	6.8%
			2. 長崎グルメの情報提供	28	5.4%
			3. 長崎さるく(まち歩き)の情報発信、ガイド研修	11	2.1%
			4. 長崎市が持つ施設(地域資源)を活用した会議の開催	7	1.4%
			5. 伝統行事やイベントの充実	42	8.2%
			6. 閑散期対策としての宿泊促進キャンペーン(クーポン発行 など)	32	6.2%
② 情報提供	81	15.7%	7. 観光ワンストップサイトにおける情報の充実	31	6.0%
			8. 長崎市を舞台とした映画・ドラマ等の作品や出演する著名人を活用したPR	24	4.7%
			9. インバウンド誘致のための広域連携	26	5.0%
③ 受入環境の整備	222	43.0%	10. 市民及び市内事業者のおもてなし気運の醸成	11	2.1%
			11. Wi-Fi 新設	31	6.0%
			12. 多言語案内板の増設	30	5.8%
			13. 公衆トイレの整備(新設、機能強化(洋式化、暖房便座 など))	33	6.4%
			14. オーバーツーリズム対策(訪問客の増加等に伴う観光公害)の実施	14	2.7%
			15. 将来の観光産業を支える人材育成	15	2.9%
			16. 宿泊施設改修のための支援	46	8.9%
17. 公共交通機関の充実(多言語案内など)	29	5.6%			

			18. 宿泊スタッフのスキルアップ研修（接遇、リーダー育成 など）	13	2.5%
④ 資源 磨き	23	4.5%	19. 観光施設のライトアップや施設改修、ユニークベニューの利活用支援事業の実施	23	4.5%
⑤ 緊急時 の対応	22	4.3%	20. 緊急時の観光需要の回復及び喚起を図るための事業の実施（観光キャンペーン等）	22	4.3%
⑥ その他	11	2.1%	21. その他	11	2.1%
	2	0.4%	未回答	2	0.4%
			合計	516	100.0%

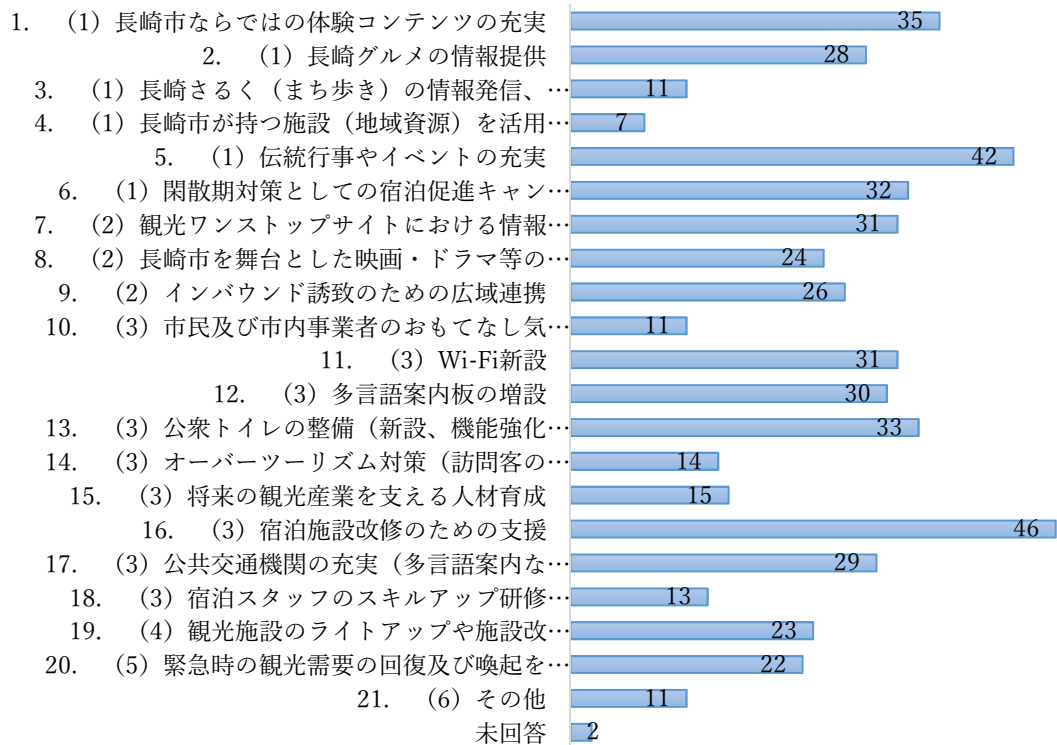
【その他の回答】

- ・市内の駐車場の案内図（バイク）
- ・②情報提供○観光地域づくり推進費の詳細な費用内訳を知りたい。
- ・インバウンドの防犯対策（路上や室内の防犯カメラやサスマタ、カラーボール等導入）
- ・17に関連して、交通網の整備[長崎駅前ロータリーの活用、北部・南部バス路線相互乗り入れ、路面電車迄の導線整備（歩道橋を渡らずにフラットに
- ・かもめ市場の見直し[長崎の食のアピール場所（魚を買える場所・長崎和牛が食べられる・ちゃんぽんストリート等）]
- ・施設設備の補助金設定をして欲しい。
- ・長崎では坂道や狭い道が多く、グーグルマップでは一方通行の道でも車が入らない所があり、改善がほしい。
- ・スタジアムシティにおける2万人規模のコンサートの誘致
- ・海外の方向けの英語表記の充実
- ・新たな観光資源となるものへの投資
- ・特になし

6項目の割合（％）

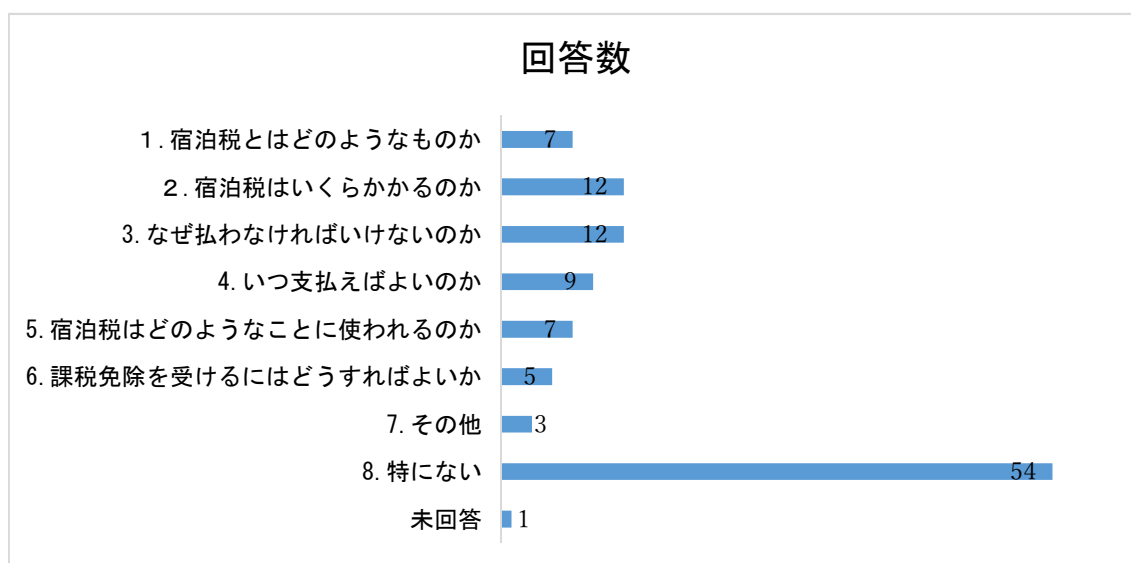


回答数



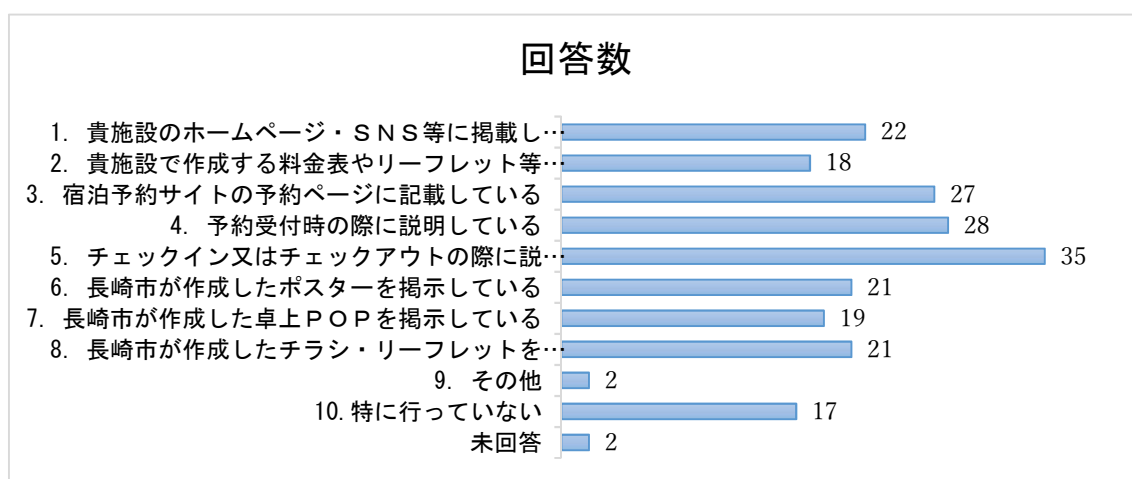
【問3】宿泊税について、日頃、宿泊者などから、どのような内容の質問がありますか。
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

1.宿泊税とはどのようなものか	7	6%
2.宿泊税はいくらかかるのか	12	11%
3.なぜ払わなければいけないのか	12	11%
4.いつ支払えばよいのか	9	8%
5.宿泊税はどのようなことに使われるのか	7	6%
6.課税免除を受けるにはどうすればよいのか	5	5%
7.その他	3	3%
8.特にない	54	49%
未回答	1	1%
合計	110	100%



【問4】貴施設において、宿泊税についてどのように周知・説明を行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 貴施設のホームページ・SNS等に掲載している	22	10%
2. 貴施設で作成する料金表やリーフレット等に記載している	18	8%
3. 宿泊予約サイトの予約ページに記載している	27	13%
4. 予約受付時の際に説明している	28	13%
5. チェックイン又はチェックアウトの際に説明している	35	17%
6. 長崎市が作成したポスターを掲示している	21	10%
7. 長崎市が作成した卓上POPを掲示している	19	9%
8. 長崎市が作成したチラシ・リーフレットを配置している	21	10%
9. その他	2	1%
10. 特に行っていない	17	8%
未回答	2	1%
合計	212	100%



【問5】宿泊税の広報（周知の方法）について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（自由回答） 《主な意見》

最初の1年こそ「なんですか？」との声はあったものの、最近ではほぼ認知していただいているので、詳しく説明がいなくなったように思います。

「他の施設では支払わなかった」との声がありました。
もしかすると予約サイトの金額に上乗せしている施設があるのかもしれませんが。
その他は問題なく、気持ちよくお支払いいただいています。

公共交通機関にチラシやアナウンスを入れる。高速道路インターや料金所に横断幕を設置する。

宿泊税を利用してどのような事を行ったのか、お客様が一目で分かるようなPOPやチラシをホテルに設置する。

・宿泊税使用用途報告会の開催を望みます。これは名前のとおり「宿泊税がどこでいくら使われているか、その効果が表れているか」を宿泊事業者は知る権利があると思うためです。

活用したところが観光客にも見えるようにしてほしい

全国の自治体で導入が進んでいる行政の方からもOTAなどエージェントを巻き込んだ税の徴収方法を進言してほしい

宿泊税の存在確認。他の税導入自治体の事例広報（長崎市だけ課税ではない旨PR）

宿泊税活用後の効果測定含めCMやSNS等を活用した分かりやすい動画配信などを期待したい。

SNS・駅・空港内掲示

【問6】 そのほか、長崎市の宿泊税に関するご意見、要望等がございましたら、ご記入ください。 《主な意見》

宿泊税だけは「現金のみ」の支払いにできないか検討してほしい。
宿泊税の活用についていくつか選択しましたが、最近感じるのかインバウンドの入込が弱い事です。プロモーション含め、施設の対応等への活用をお願いします。
サイト上乘せやキャッシュレスでの支払いだと手数料があり現金での徴収にしていますが、これでいいのか、他施設はどうしているのか、今後もずっと現金徴収であるのかなど疑問や迷いがあります。小さなことではありますが、統一してほしいです。
一律定額ではなく今現状体制のように料金に見合った宿泊税設定で今後も続けて欲しい。
1 宿泊税を上げる理由を明確にしてほしい 2 誘客の為に使うよりも、来たお客様の満足度を上げる為（食・交通網等）に使ってもらった方が良い。 ※現在の長崎市の対応は、お客様に来てほしいという点ばかり強く、来られてからの受け入れ体制、リピーター化を狙うという感じがしない。
宿泊税の金額は宿泊代による段階的な課税するのではなく、一律（〇円）に統一頂きたいと考えます。
宿泊税導入のおかげで業務が増えて困ります。納付の効率化よりも徴収の効率化を考えてください。（OTA 予約時に自動徴収される）※飛行機パックプランは自動徴収です。
長崎に来られる皆様の為に、有意義に利用頂けたらと思います。 インバウンドのゲスト様に関してはwi-fi や多言語の看板・サインがより一層増えると良いかと思います。
長崎県が宿泊税導入を検討しているが、導入となった場合は事務手続き・利用者の混乱が起きるため対策を検討して欲しい
観光地周辺の道路補修に使用して頂けると嬉しい
宿泊料金に含めて徴収していただきたいです。別途で徴収すると余分な業務負担が増えてしまいます。
活用実績について、分かりやすい（利用者が）報告があると納得感があって支払いやすいと思います。

- ・宿泊税の活用実績及び活用効果（KPI）を公開しているが、KPI に訪日外国人観光客数を加えるなど、施策と連動した KPI 設定を行い、観光消費額増加に向けた動きを進めてほしい。
- ・キャッシュレス化浸透に伴い宿泊事業者が負担するカード決済会社への手数料（宿泊税に対応する部分含む）が増えているが、既に特別徴収事務報償金の交付率（2.5%）と同程度もしくはそれを上回る手数料率を負担している。宿泊事業者は特別徴収義務者として多大な労力と金銭的な負担を強いられており、特別徴収事務報奨金の交付率改善及び上限額（50万円/年）撤廃をお願いしたい。
- ・長崎ならではのコンテンツの配信、商品化サポートやイベント開催等、他の自治体にはない魅力に焦点を当てた施策の強化を期待したい。また、文化・歴史においてユニークなエリアである特性を活かし、官民一体となった地域インバウンドの積極誘致や富裕層向け宿泊施策の実施など、より一層の魅力発信をお願いしたい。